物価高から くらし・営業を守る政治を

「やりくりはもう限界…」

日本共産党

昨年の衆院選に続き、今年の参院選でも政府与党は大敗し、過半数割れに追い込まれました。しかしその後も、権力に固執し、国民生活よりも数合わせに奔走する国会。こんな政治では希望も未来も開けません。

日本共産党は国民と深く結びつき、消費税減税や福祉の拡充を求め、排外主義や極右的潮流に断固反対し、ジェンダー平等社会をめざし、引き続き力を尽くします。ご支援・ご協力をお願いいたします。



生活保護

憲法違反は是正を

生活保護基準引き下げは違法との初の最高裁判決に対し、「真摯（しんし）に受け止める」（市長）、「判決は非常に重い」（健康福祉部長）と日本共産党の質問に答弁。国は1日も早く利用者への謝罪と制度の是正、改定前基準との差額を遡及し、支給するべきです。



2期工事
2.4億円予定

相互通行から一方通行へ



噂の「いざきロード」

1期工事
3.8億円

ムダ使いは許さない

2024年度 決算

日本共産党は、市長の税金のムダ使いを告発。

市民から批判が広がる「いざきロード」。担当課は「市民要望はない」とキッパリ答弁する一方、市長は6億2千万円も投入する計画です。

その他にも、古民家再生に2億円、「観光」に3年間で11億2千万円（白みりんミュージアムと駐車場の整備費7億7千万円を含む）。

ムダ使いを正せば、願いは実現できます。ご一緒に力を合わせましょう。



古民家再生
2億円



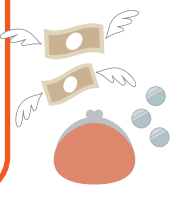


白みりん
ミュージアム・駐車場
7.7億円

願いは実現できる!!

24年度は、昨年度に続き、急激な物価高騰が直撃。政治の役割が問われました。しかし、国からの物価対策交付金は一般会計のたった3％弱。「国の取り組みは十分ではない」と批判する市長も、市独自の物価対策は雀の涙。市民一人当たり116円です。

日本共産党は、大きな赤字となっている入院給食への補助600万円を含め、新たな物価対策として1億円（市税収入の0・3％）の増額を提案し、実施するよう迫りました。



身近な要求実現

議会初

「管理不全空家」規則策定を約束
小田桐たかし



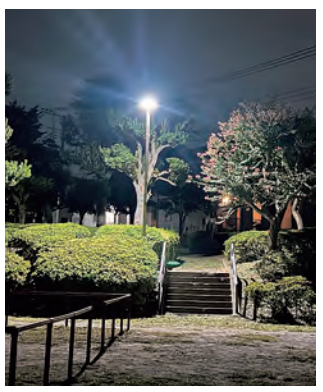
危険な歩道を改修（江戸川台駅西口千葉銀行前）
植田和子



道路整備と安全対策（東部中学校の通学道路）
高橋あきら



消えていた照明の修理（美和1号公園）
いぬいえり



流山市加4-1688　TEL／FAX 04（7157）6140　メールアドレス　giindan@nagareyama-jcp.jp
ホームページ　http://www.nagareyama-jcp.jp/　流山市議会事務局　平和台1−1−1　TEL 04（7150）6099

ご意見・ご要望をお寄せください

積極提案で市政動かす

日本共産党の4議席


小田桐たかし


植田和子


高橋あきら

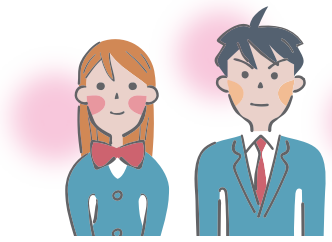

いぬいえり

市議会 ねほりはほり

10代青年が陳情提出

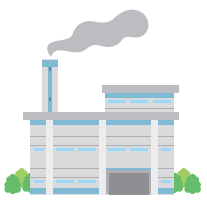
市内在住の中学生が、学校生活で感じた不都合な事柄について陳情（12項目）を議会に提出。画期的な取り組みです。

日本共産党は全面的に賛同しましたが、一部の議員は項目一つ一つに反応し、反対討論も。若者の思いに寄り添う政治が求められています。



事業系ごみ変更 見返り的天下り？

昨年強行された「事業系ごみの制度変更」。日本共産党の質疑で、①制度変更に伴う恩恵を特定事業所が多大に受けていること、②その特定事業所に、当時のクリーンセンター所長が定年退職後に再就職していること、③「市職員再就職届出義務（離職後2年間）」が順守されていないことが発覚しました。



環境保全 自然を守り、活かす運動を

野々下・古間木に残る里山環境の保全を願い、市民団体が市議会に陳情書を提出。採決の結果、賛成1、反対22、棄権4となり、不採択になりました。

日本共産党は、陳情書提出に至った願いには賛同するものの、農業委員会の独立性などを担保し、農家（地権者）の営農希望に応える観点から、陳情項目には賛成できず、賛否の態度を明確にせず、棄権しました。

地球規模の異常気象の下、自然環境と農業を共に支え、協力し合うことが大切です。今こそ、市民・農家・関係団体・行政・議会が協働し、市内に残る自然環境を最大限保全するため、力を合わせましょう。



日本共産党市議団の見解

教育 子ども寄り添い、学び支える施策を

物価高の下、家庭の負担も大きくなっており、学校教育部長も「憂慮すべき」と答弁。また、市内の不登校児童生徒は、24年度末で426人となっています。

日本共産党は、就学援助制度の受給基準を引き上げ、さらに卒業アルバム代や通信費等を含めるべきと提案。さらに38人が通うフリースクールへの通学補助も提起しました。

近隣市では就学援助の受給基準が拡充され、松戸市や市原市ではフリースクールへの補助も始まっています。全ての子どもの学ぶ権利を保障し、拡充することが求められています。



2025年第2・3回定例会　星取表

会派	日本共産党				流政会								自民党		公明党				流山みらい											
議員名 ○賛成　×反対　－棄権 ※議長は表決に参加しない。	乾えり	高橋あきら	植田和子	小田桐仙	小沢えみり	川本大岳	渡辺仁二	近藤みほ	石原修治	坂巻儀一	笠原久恵	青野直	中川弘	海老原功一	桑畑伴子	岡明彦	戸辺滋	野村誠	うた桜子	西尾段	中村彰男	藤井俊行	楠山栄子	清水大	鈴木ゆうすけ	矢口輝美	森田洋一	阿部治正
ガザ地区の恒久的停戦とパレスチナの和平を求める決議（可決）	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ケア労働者の処遇改善等を求める意見書提出を求める陳情書（採択）	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
米の増産と米農家の所得補償等を求める意見書（可決）	○	○	○	○	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ただちに消費税減税の実施を求める意見書（否決）	○	○	○	○	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○
令和６年度一般会計決算（認定）	×	×	×	×	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
野々下の休耕田の埋め立てに関わる農地転用を許可しないように求める陳情書（不採択）	－	－	－	－	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
物価高騰等に見合った医療機関への支援を国へ求める意見書の提出を求める陳情書（採択）	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
ガソリン税の暫定税率撤廃を求める意見書（可決）	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
政党助成金制度の廃止を求める意見書（否決）	○	○	○	○	○	×	×	○		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×